USA's primary source for projector lamps
myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

PE7700

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

BenQ

PE7700 デジタル プロジェクタ
ホームシアター
ユーザーズガイド

Welcome

著作権

Copyright © 2006 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、本会社 の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

本会社は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、本会社は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。
*DLP 、Digital Micromirror Device 、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の商標については、それぞれの企業または組織が著作権を保有しています。

保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。
保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換 (工賃を含む) に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。
重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。
特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0° C から 40° C の間、高度 10000 フィート以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。
詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

iv目次

安全のための注意、規則、法規について 5
- FCC 規則（米国用） 5
- EEC 規則（ヨーロッパ用） 5
- MIC 規則 5
- 安全にお使いいただくために 5
- 結露 8
- 揮発性液体の使用の禁止 8
- 処理 8

概要 9
- 機能 9
- パッケージ内容 10
  - 別売りアクセサリ 10
  - バッテリーの装着と取り外し 10
- プロジェクタ外観ビュー 11
  - 前面 / 上面 11
  - 背面 11
  - 底面と右面 11
  - コネクタ パネル 11
- 制御装置および機能 12
  - コントロール パネル 12
  - リモートコントロール 12

設置 14
- 場所の選択 14
- スクリーンサイズの調整 15
  - 16:9 スクリーンに対してプロジェクタを床面に設置する場合 15
  - 4:3 スクリーンに対してプロジェクタを床面に設置する場合 16

接続 17
- ビデオ入力との接続 17
  - HDMI デバイスの接続 17
  - コンポーネントビデオ機器との接続 17
  - S ビデオまたはビデオ機器との接続 18
- コンピュータとの接続 18

プロジェクタとリモコンの使い方 19
- 準備 19
- 起動 19
- 入力信号の切り替え 19
- イメージの調整 20
  - 角度と高さの調整 20
  - イメージの自動調整 20

ズームと焦点合わせ 20
最適化 20
1. プリセットモードの選択 21
2. 縦横比の選択 21
3. その他の調整 21
プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ 22
ビデオメモリの保存と読み込み 22
PIP（Picture-In-Picture）と POP（Picture-On-Picture）機能の使い方 22
終了 23
メニュー 24
メニュー構造 24
メニューの使用方法 25
画像メニュー 25
ディスプレイメニュー 26
オプションメニュー 27
設定メニュー 27
詳細メニュー 28
メンテナンス 30
プロジェクタのお手入れ 30
レンズのクリーニング 30
プロジェクタケースのクリーニング 30
ダストフィルタのお手入れと取り替え 30
プロジェクタの保管 31
プロジェクタの移動 31
ランプの交換（BenQ 販売店へお問い合わせください） 31
インジケータ 33
トラブルシューティング 34
仕様 35
光学仕様 35
電気仕様 35
入力 35
機械仕様 35
寸法 35

1 安全のための注意、規則、法規について

高性能 BenQ ビデオプロジェクタをお買い上げいただきありがとうございます ! 本製品はホームシアターもお楽しみいただけるよう設計されています。最高の結果をお楽しみいただくために、コントロールメニューや操作方法については本書をよくお読みください。

FCC 規則（米国用）

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。

クラス B ：本装置は無線周波数エネルギーを発生、使用、放射するため、指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な干渉を起こす恐れがあります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置が原因で、ラジオおよびテレビの受信に有害な干渉が発生している場合（装置の電源を切ることによって判別できます）、必要に応じて次の対策を施し、干渉を防止してください。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路と異なる回路のコンセントに本装置を接続する。
- 販売代理店やラジオ / テレビ関係の熟練技術者に相談する。

EEC 規則（ーロッパ用）

本製品は EMC (Electro Magnetic Compatibility：電磁的両立性) に関する ECC 指令 89/336/EEC に適合することが試験の結果確認されています。

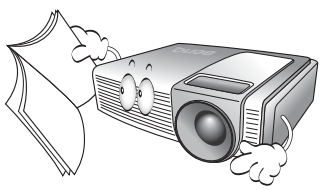
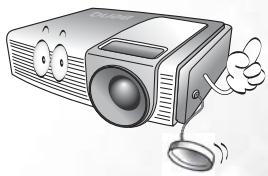
MIC 規則

B クラス装置 （家庭用情報 / 電気通信装置）

本装置は家庭用として EMC 登録を受けているため、本製品は住居地域を含む任意の地域で使用できます。

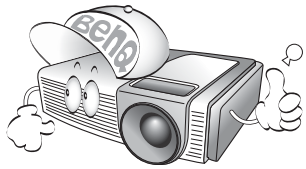
安全にお使いいただくために

お使いの BenQ プロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

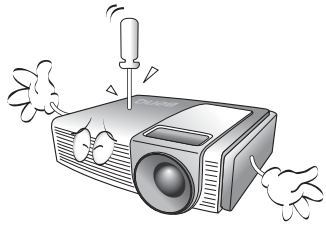
安全にお使いいただくために	
1. プロジェクタを操作する前に、このユーザーガイドをお読みください。このユーザーガイドは、後で参照できるよう大切に保管してください。 	2. プロジェクタのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。 

安全にお使いいただくために（続き）

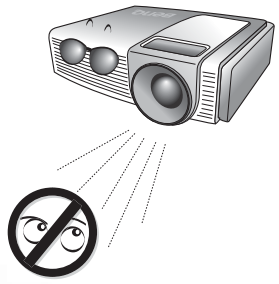
3. 修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。



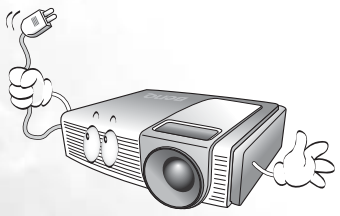
4. 本装置のキャビネットは開けないでください。感電する恐れがあります。ユーザーが保守可能な内部部品はありません。点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。組み立て方法に誤りがあると、本装置を使用するときにプロジェクタの誤作動や感電の恐れがあります。



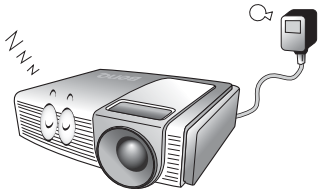
5. 動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。光線が強力なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。



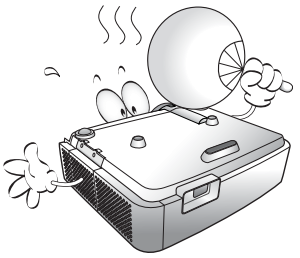
6. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクタの電源プラグを抜いてから行ってください。



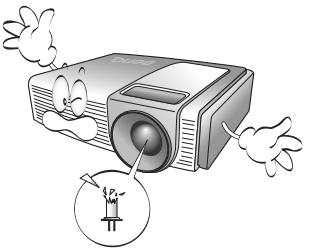
7. 国によっては、電源電圧が一定していない場合もあります。プロジェクタは、電源が AC100 ～ 240V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10V のサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクタを接続することをお薦めします。



8. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。

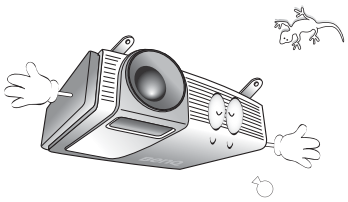


9. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。

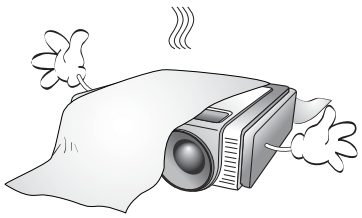


安全にお使いいただくために（続き）

10. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。天井に取り付ける場合は、BenQ の天井取り付けキットを使用し、しっかりと固定してください。

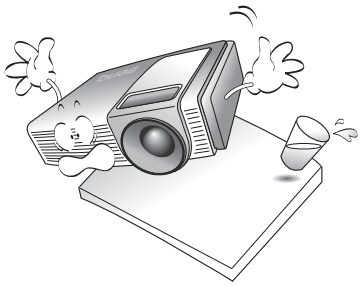


11. 通気孔をふさがないでください。
    - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
    - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
    - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。

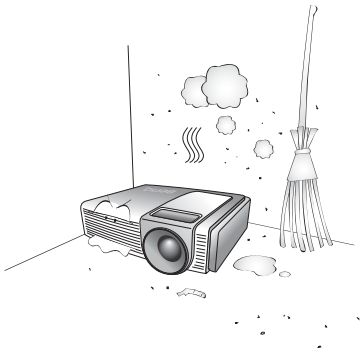


通気孔がふさがれると、装置の内部が過熱し、火災が発生することがあります。

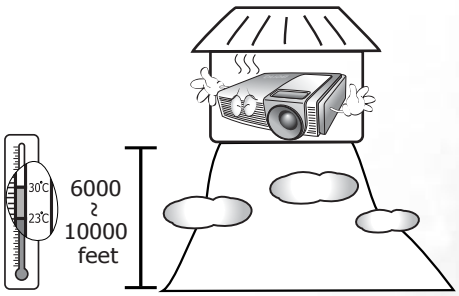
12. 本製品は安定した場所に設置してください。本製品が落下して、重大な損傷を受ける恐れがあります。

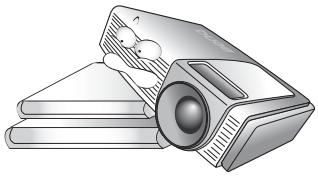
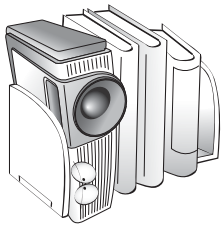
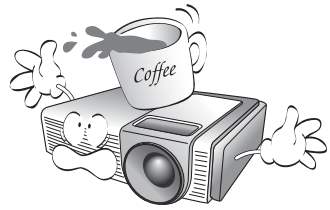
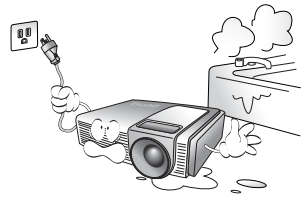


13. 次の場所に装置を置かないでください。
    - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
    - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
    - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



    - 火災報知器に近い場所。
    - 周辺温度が 40°C / 104°F を超える場所。
    - 高度が 10000 フィートを超える場所。



安全にお使いいただくために（続き）	
14. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。 - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15°を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態で装置を使用すると、ランプが故障したり損傷することがあります。  15. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、装置が倒れけがをしたり、装置が損傷する恐れがあります。 	16. 装置の上に乗ったり、物を置かないでください。装置が物理的に損傷するだけでなく、事故やけがの原因になります。  17. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタ内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。 

結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクタを移動させた後は、すぐには装置を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクタの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも 2 時間以上経過してから装置を使用してください。

揮発性液体の使用の禁止

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を装置の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間装置に触れたままの状態で放置しないでください。装置に痕が残ってしまいます。化学薬品を染み込ませた布で装置を拭く場合は、本書に記載される安全のための指示にしたがってください。

処理

本装置には人体や環境に有害な素材が使用されています。

- リード（はんだに使用されています）
- 水銀 （ランプに使用されています）

製品や使用済みランプを処理する方法については、お住まい地域の環境局にお尋ねください。

2 概要

機能

■ 高画質

このシングル DMD DLP™ プロジェクタは高画質、高コントラスト率、色の均等性に優れています。

■ ダイナミックな性能と優れたグレイスケール

６つに区分けされたカラーホイールが装備されたこのプロジェクタは、最高 300Hz のリフレッシュレートを実現します。つまり、シングル DMD DLP™ プロジェクタによくある「色のちらつき」や「レインボー効果」などの問題を発生させることなく、優れた性能とグレイスケールを提供します。

■ シールド光学エンジン

光学エンジンには、最高の性能を実現するために高品質レンズが使用されています。シールド光学エンジンは光を漏らさず、エンジンにホコリが入らないように設計されています。エンジンにホコリが入ると、投射映像に黒い点が映ってしまいます。

■ コントラスト比 2500:1 の固定 CAT 光学レンズ

このプロジェクタは、最高のコントラスト比と明度を実現するためにレンズのアパーチャが拡大されています。

■ 低ノイズ

特別な冷却システム設計により、ファンの耳障りなノイズを防止します（通常モードでは 29dB、省電力モードでは 26dB）。

■ 多様な入力機能

このプロジェクタは広範囲に及ぶビデオフォーマットに対応しています。コンポーネント入力は、プロジェクタと HDTV 受信機および DVD プレーヤーを接続するために使用します。これらの入力には、長いケーブルを使ってインストールを行う際に生じる信号の低下を最小限に留めるために、RCA コネクタを使用します。

■ HDTV 対応

このプロジェクタは 480i、480P、576i、576p、1080i、720P などのフォーマットに対応しています。

■ 3:2 プルダウンによる非インタレース

BenQ 専用の非インタレース技術を搭載したこのプロジェクタは、最も自然な画像を表示するために、非常に優れたスケーリングとフィルム対ビデオ (3:2 プルダウン) 変換を実現します。

■ PIP/POP 機能

PIP（Picture-In-Picture）および POP（Picture-On-Picture）機能により、スクリーン上に同時に２つの入力を表示することができます。

■ ビデオメモリ

このプロジェクタは信号の種類毎に最高の映像を表示できるように、ビデオメモリに３種類の設定を保存しておくことができます。

■ 多言語 OSD (On-Screen Display) メニュー

パッケージ内容

このプロジェクタにはビデオと PC 装置を接続するのに必要なケーブルが同梱されています。地域によっては、提供されないアイテムもあります。ご購入場所をご確認ください。

☞ **アクセサリのいくつかは、国によって異なる場合があります。**



プロジェクタ



ユーザーズ ガイド



保証書



ビデオ ケーブル



リモートコントロールとバッテリー



US (110V)



EU (220V)



UK (240V)

電源ケーブル



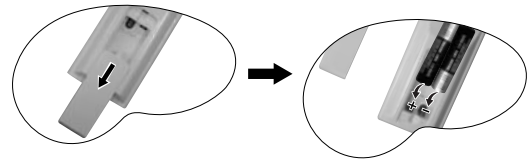
S-Video ケーブル

別売りアクセサリ

1. HDMI ケーブル
2. 天井取り付けキット
3. VGA-BNC ケーブル

バッテリーの装着と取り外し

カバーを押し、スライドさせるとカバーが開きます。極性に注意して単 4 電池 2 個を挿入し、カバーを閉じてください。



☞ **バッテリーについてのご注意**

- 古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用したり、異なるタイプのバッテリーを混ぜて使用したりしないでください。
- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- リモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

プロジェクタ外観ビュー

前面 / 上面



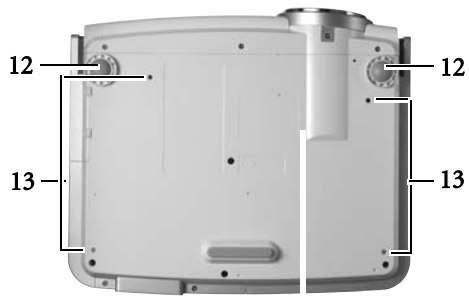
1. 通風孔（排気）
2. 背面 IR センサー
3. コントロール パネル （詳細は 12 ページを参照してください）
4. ピントリングおよびズームリング
5. 前面 IR センサー
6. 投写レンズ
7. ダストフィルタ グリル
8. レンズキャップ

背面



9. コネクタ パネル
10. メイン AC 電源スイッチ
11. 電源ケーブルソケット

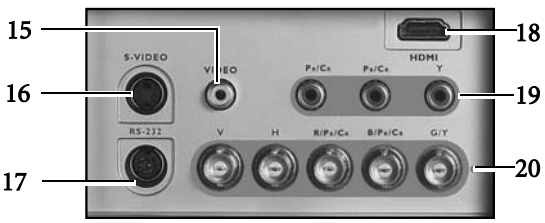
底面と右面





12. 前面アジャスタ フット
13. 天井取り付け用の穴
14. Kensington ロック スロット

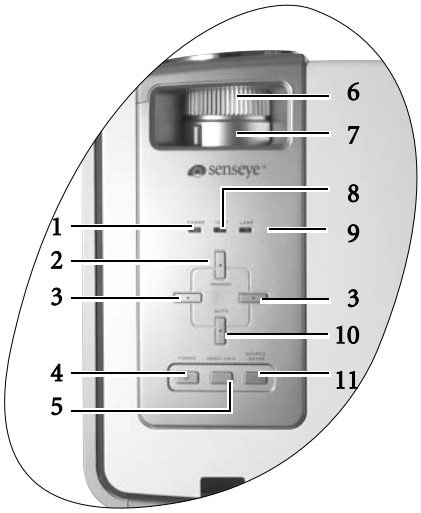
コネクタ パネル



15. コンポジットビデオ入力（RCA ジャック）
16. S-Video 入力（ミニ DIN 4-pin）
17. RS-232C 入力（サービス用）
18. HDMI 入力
    セットアップ ボックス、DVD プレーヤー、デジタル TV（DTV）、その他のデジタル AV 装置など、すべてのデジタルビデオ ソースに対応しています。
19. コンポーネントビデオ入力（RCA ジャック）
    Y/PB/PR、または Y/CB/CR に対応しています。
20. RGB/ HDTV 入力（BNC）
    Y/PB/PR、Y/CB/CR または RGB HV PC ビデオ信号入力に対応しています。

制御装置および機能

コントロール パネル

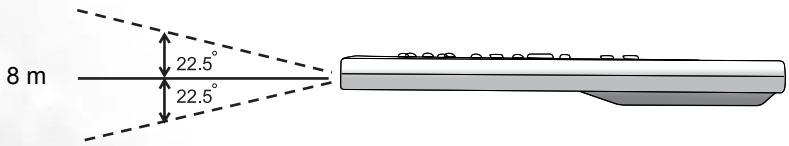


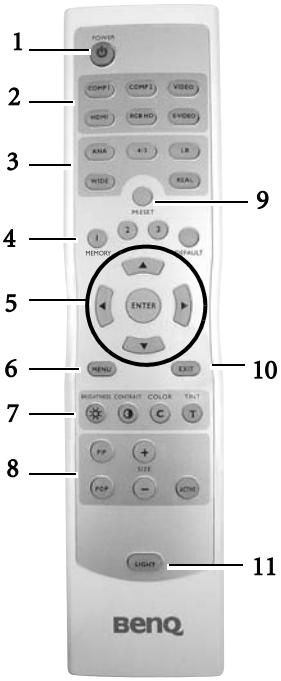
1. **POWER（電源）インジケータ ライト（詳細については、32 を参照してください）。**
   プロジェクタ動作中に点灯または点滅します。
2. **MEMORY（メモリ）▲**
   メモリに保存した設定を 1 から 3 まで順番に呼び出します。
3. **矢印（◀/▶）**
   オンスクリーンメニューが有効な場合、#2、#3、#10 のボタンを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。
4. **POWER（電源）（詳細については、19、23、32 ページを参照してください）。**
   このボタンを押したままにすると、スタンバイモードのときにプロジェクタがオンになります。プロジェクタをオフにするにはこのボタンを 2 回押してください。
5. **MENU / EXIT （メニュー / 終了）**
   オン スクリーン ディスプレイのコントロール メニューをオンにします。
   終了し、メニューの設定を保存します。
6. **ピントリング （詳細については、20 ページを参照してください）**
   投写イメージの焦点を調整します。
7. **ズームリング（詳細については、20 ページを参照してください）**
   投射した画像のサイズを調整します。
8. **TEMP 温度警告ライト（詳細については、32 ページを参照してください）**
   プロジェクタの温度が異常に高くなると点灯または点滅します。
9. **LAMP インジケータ ライト（詳細については、32 を参照してください）**
   ランプの状態を表示します。
   ランプに問題が発生した場合に点灯または点滅します。BenQ 販売店にお問い合わせください。
10. **AUTO ▼**
    表示画像に最適なピクチャタイミングを自動的に決定します。
11. **SOURCE / ENTER （ソース /ENTER）(詳細については、25 ページを参照してください)**
    入力ソースを順番に切り替えたり、オンスクリーン メニューが有効になっているときには選択したメニューアイテムを開いたりします。

リモートコントロール

☞ リモコン操作に関する注意

- リモコンとプロジェクタの間に赤外線を遮断する障害物がないかどうかを確認します。
- リモコンの有効範囲はプロジェクタの前後 8 メートル以内となっています。リモコンはプロジェクタの IR リモコンセンサから 45 度以内で使用してください。





1. **POWER（電源）（詳細については、19、23、32 ページを参照してください）**
   このボタンを押したままにすると、スタンバイモードのときにプロジェクタがオンになります。プロジェクタをオフにするにはこのボタンを 2 回押してください。
2. **ソース（詳細については、27 ページを参照してください）**
   プロジェクタに表示する入力信号を選択します。
3. **縦横比ボタン（詳細については、26 ページを参照してください）。**
   入力信号に合わせてイメージの縦横比を選択します。
4. **Memory（メモリ）（1、2、3 およびデフォルト）ボタン（詳細については、26 を参照してください）**
   メモリ１、２、３に保存した設定、または現在の入力ソースのデフォルト値に戻します。
5. **矢印（▲/◀/▼/▶）（詳細については、25 を参照してください）**
   メニュー項目の選択および調整に使用します。
   ENTER（詳細については、25 ページを参照してください）
   選択したメニューアイテムを開きます。
6. **MENU（メニュー）（詳細については、25 ページを参照してください）**
   オン スクリーン ディスプレイのコントロール メニューをオンまたはオフにします。
7. **画質調整ボタン （詳細については、25 ページを参照してください）**
8. **PIP および POP ボタン（詳細については、22 ページを参照してください）**
   PIP または POP 機能のオン / オフを切り替えるには、**PIP** または **POP** ボタンを押します。PIP 画像のサイズは + または ñ ボタンを使って調整します。メインウィンドウとサブウィンドウを切り替えたり、左ウィンドウと右ウィンドウを切り替えたい場合は、**ACTIVE（有効化）**をトグルすると選択したウィンドウの画像設定を調整することができます。
9. **PRESET（プリセット）（詳細については、21 ページを参照してください）**
   プログラムタイプに最も合ったプリセットモードを選択してください。
10. **EXIT（終了）（詳細については、25 ページを参照してください）**
    メニューを終了し、行った変更内容を保存します。
11. **LIGHT（ライト）**
    リモコンのバックライトをオンにします。

3 設置

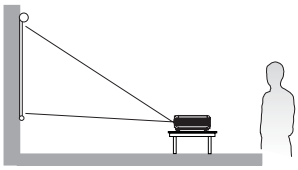
場所の選択

プロジェクタは次の 4 種類の場所に設置することができます。

1. 前方フロア
2. 前方天井
3. 後方フロア
4. 後方天井

部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

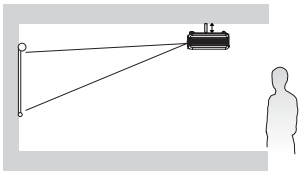
I. 前方フロア：
プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。



II. 前方天井：
プロジェクタをスクリーン正面の天井に取り付けます。

この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。

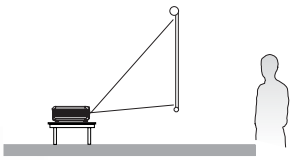
プロジェクタをオンにしたら、**設定** > **ミラー**メニューで**前方天井** を設定してください。



III. 後方フロア：
プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。

専用な背面投写スクリーンが必要です。

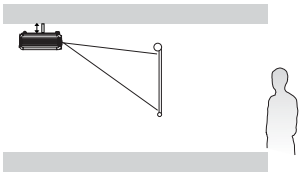
プロジェクタをオンにしたら、**設定** > **ミラー**メニューで**後方フロア** を設定してください。



IV. 後方天井：
プロジェクタをスクリーン背面の天井に取り付けます。

専用な背面投写スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。

プロジェクタをオンにしたら、**設定** > **ミラー**メニューで**後方天井** を設定してください。



スクリーンサイズの調整

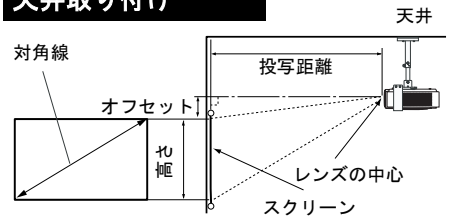
イメージの投写サイズに応じて、プロジェクタのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、ビデオフォーマットの各ファクタなどを調整します。16:9 と 4:3 の両サイズ用の表を用意しましたので、プロジェクタを設置する場所を決定する際参照してください。

1. スクリーンの縦横比が 16:9 か 4:3 のどちらであるか決定します。
2. 使用するスクリーンのタイプに基づいて、下の 16:9 スクリーンサイズ表か、4:3 スクリーンサイズ表から任意の**スクリーンサイズ**を選択します。**最短距離**と**最長距離**の間の範囲内にプロジェクタを設置してください。**投写距離**は表に示してあります。
3. プロジェクタの高さを決定します。

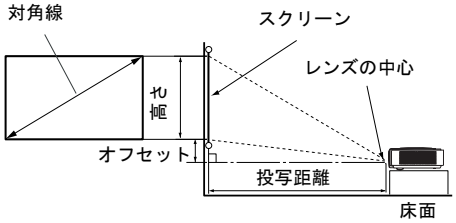
たとえば対角線の長さが 80 インチの 16:9 スクリーンに投写する場合は、スクリーンから 2.34m から 3.18m 離れた場所にプロジェクタを設置するようお薦めします。**プロジェクタのレンズ中央の高さが、スクリーンの底辺または上辺と同じレベルになるようにするのが理想的です。**

16:9 スクリーンに対してプロジェクタを床面に設置する場合

天井取り付け



床取り付け



16:9 (ワイドスクリーン) スクリーンサイズ表

スクリーンサイズ			投写距離		高さのオフセット	
対角線 インチ / cm	高さ インチ / cm	幅 インチ / cm	最低値 インチ / cm	最高値 インチ / cm	距離 cm	幅 cm
37 / 94	18.1 / 46	32.3 / 82	42.5 / 108	57.9 / 147	2	2
50 / 127	24.4 / 62	43.7 / 111	57.5 / 146	78.4 / 199	3	3
60 / 152	29.5 / 75	52.4 / 133	68.9 / 175	93.7 / 238	4	4
70 / 178	34.8 / 87	61.0 / 155	80.3 / 204	109.5 / 278	4	4
80 / 203	39.4 / 100	69.7 / 177	92.1 / 234	125.2 / 318	5	5
90 / 229	44.1 / 112	78.4 / 199	103.5 / 263	140.6 / 357	6	6
100 / 254	49.2 / 125	87.0 / 221	115.0 / 292	156.3 / 397	6	6
110 / 279	54.8 / 137	96.1 / 244	126.4 / 321	172.1 / 437	7	7
120 / 305	58.7 / 149	104.7 / 266	137.8 / 350	187.4 / 476	7	7
130 / 325	63.8 / 162	113.4 / 288	149.6 / 380	203.2 / 516	8	8
140 / 356	68.5 / 174	122.1 / 310	161.0 / 409	218.9 / 556	9	9
150 / 381	73.6 / 187	130.7 / 332	172.4 / 438	234.7 / 596	9	9
160 / 406	78.4 / 199	139.4 / 354	183.9 / 467	250.0 / 635	10	10
170 / 432	83.5 / 212	148.0 / 376	195.3 / 496	265.8 / 675	11	11
180 / 457	88.2 / 224	156.7 / 398	207.1 / 526	281.5 / 715	11	11
190 / 483	93.3 / 237	165.8 / 421	218.5 / 555	296.9 / 754	12	12
200 / 508	98.0 / 249	174.4 / 443	229.9 / 584	312.6 / 794	12	12
250 / 635	122.4 / 311	217.7 / 553	287.4 / 730	390.9 / 993	16	16
300 / 762	147.2 / 374	261.4 / 664	344.9 / 876	468.9 / 1191	19	19

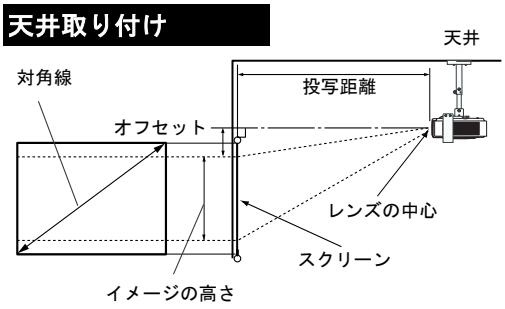
☞ **これらの数値は実際の値とは若干の誤差があるかもしれません。推奨するスクリーンサイズのみ表示してあります。スクリーンサイズが上記の表に記載されていない場合は、BenQ 販売店へお問い合わせください。**

この表からプロジェクタのレンズがスクリーンから 1.08 ～ 11.91m の距離に収まるように設置すると、投写イメージがフルスクリーンで 0.82 x 0.46m ～ 6.64 x 3.74m になることが分かります。

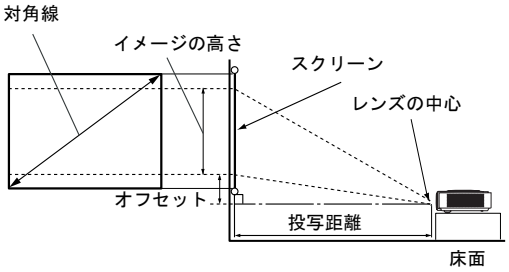
4:3 スクリーンに対してプロジェクタを床面に設置する場合

下の図と表は縦横比 4:3 のスクリーンをお持ちの方、または 4:3 スクリーンを買って縦横比 16:9 の映像を観賞したい方のために提供されています。

天井取り付け



床取り付け



4:3 (標準) スクリーンサイズ表

スクリーンサイズ			投写距離		高さのオフセット		イメージの高さ インチ / cm
対角線 インチ / cm	高さ インチ / cm	幅 インチ / cm	最低値 インチ / cm	最高値 インチ / cm	距離 (cm)	幅 (cm)	
37 / 94	22.1 / 56	29.5 / 75	39.0 / 99	53.2 / 135	2	2	16.5 / 42
50 / 127	29.9 / 76	40.2 / 102	52.8 / 134	71.7 / 182	3	3	22.4 / 57
60 / 152	35.8 / 91	48.0 / 122	63.0 / 160	85.8 / 218	3	3	27.2 / 69
70 / 178	42.1 / 107	55.9 / 142	73.62 / 187	100.4 / 255	4	4	31.5 / 80
80 / 203	48.0 / 122	64.2 / 163	84.3 / 214	114.6 / 291	5	5	35.8 / 91
90 / 229	53.9 / 137	72.1 / 183	94.9 / 241	128.7 / 327	5	5	40.6 / 103
100 / 254	59.8 / 152	79.9 / 203	105.1 / 267	143.3 / 364	6	6	44.9 / 114
110 / 279	66.1 / 168	88.2 / 224	115.8 / 294	157.5 / 400	6	6	49.6 / 126
120 / 305	72.1 / 183	96.1 / 244	126.4 / 321	171.7 / 436	7	7	53.9 / 137
130 / 325	78.0 / 198	103.9 / 264	137.0 / 348	186.2 / 473	7	7	58.7 / 149
140 / 356	83.9 / 213	111.8 / 284	147.2 / 374	200.4 / 509	8	8	63.0 / 160
150 / 381	90.2 / 229	120.1 / 305	157.9 / 401	214.6 / 545	9	9	67.3 / 171
160 / 406	96.1 / 244	128.0 / 325	168.5 / 428	229.1 / 582	9	9	72.1 / 183
170 / 432	102.0 / 259	135.8 / 345	179.1 / 455	243.3 / 618	10	10	76.4 / 194
180 / 457	107.9 / 274	144.1 / 366	189.3 / 481	257.9 / 655	10	10	81.1 / 206
190 / 483	114.2 / 290	152.0 / 386	200.0 / 508	272.1 / 691	11	11	85.4 / 217
200 / 508	120.1 / 305	159.8 / 406	210.6 / 535	286.2 / 727	11	11	90.2 / 229
250 / 635	150.0 / 381	200.0 / 508	263.0 / 668	357.9 / 909	14	14	112.6 / 286
300 / 762	180.0 / 457	239.0 / 610	315.8 / 802	429.5 / 1091	17	17	135.0 / 343

☞ **これらの数値は実際の値とは若干の誤差があるかもしれません。推奨するスクリーンサイズのみ表示してあります。スクリーンサイズが上記の表に記載されていない場合は、BenQ 販売店へお問い合わせください。**

この表からプロジェクタのレンズがスクリーンから 0.99 ～ 10.91m の距離に収まるように設置すると、投写イメージが 0.75 x 0.42m ～ 6.1 x 3.43m になることが分かります。

4 接続

プロジェクタは VCR、DVD プレーヤー、デジタルチューナー、ケーブルボックスまたは衛星ボックス、ビデオゲームコンソール、デジタルカメラなど、あらゆる種類のビデオ装置と接続できます。またデスクトップ PC やラップトップ PC、アップルマッキントッシュ機との接続も可能です。

別のケーブルを使用すると、プロジェクタと複数のビデオ装置を同時に接続することができます。表示可能な正しい信号入力を選択してください。

信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点に注意してください。

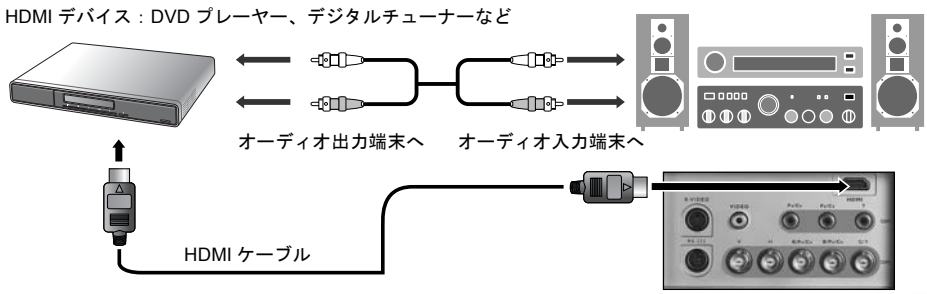
1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。
4. すべてのオーディオ信号を外部スピーカーに接続します。このプロジェクタにはスピーカーは付いていません。

☞ **下の接続図には、プロジェクタに同梱されているケーブルしか示されていません（10 ページ参照）。その他のケーブルは電気店でお買い求めいただけます。**

ビデオ入力との接続

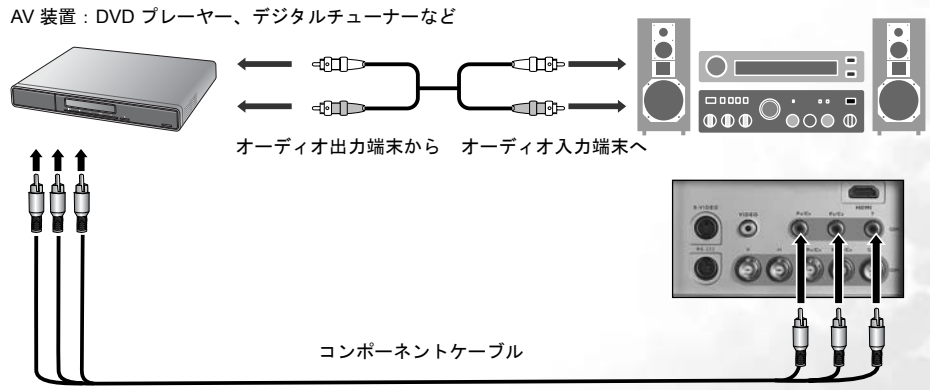
HDMI デバイスの接続

プロジェクタと HDMI デバイスを接続する場合は、必ず HDMI ケーブルをお使いください。HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は DTV チューナー、DVD プレーヤーなど互換性のある装置と未圧縮ビデオデータの転送を行い、１本のケーブルでデータを見られるようにします。この方式を使用すると、非常に優れたデジタル映像とオーディオをお楽しみいただけます。

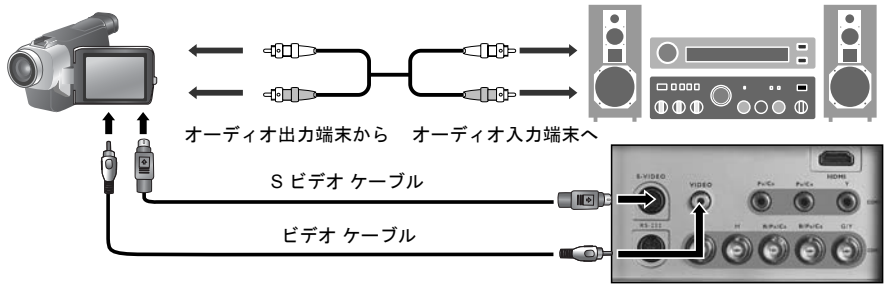


コンポーネントビデオ機器との接続

ケーブルと端末の色は必ず同じなければなりません。

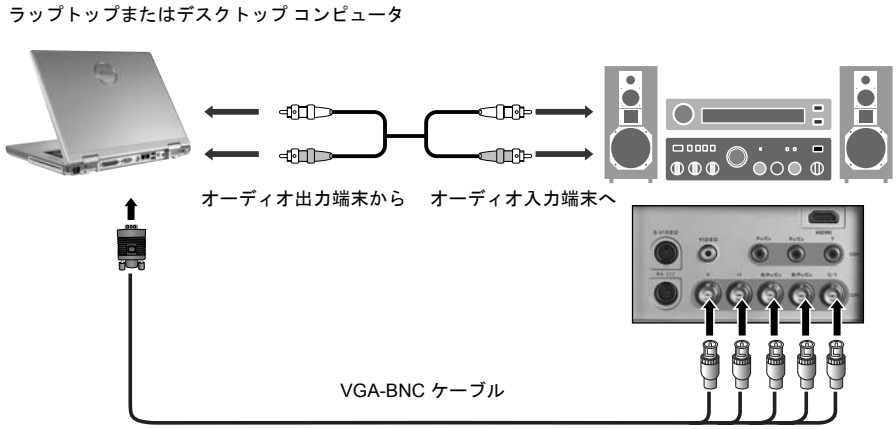


S ビデオまたはビデオ機器との接続



コンピュータとの接続

VGA-BNC ケーブルを使ってプロジェクタとコンピュータを接続します。



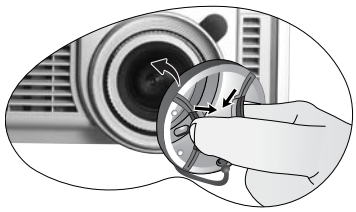
☞ **電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**

☞ **ラップトップの多くは、プロジェクタに接続した場合に外部ビデオポートをオンにしません。通常 ＜ FN ＞ + ＜ F3 ＞や CRT/LCD キーなどを使用すると、外部表示のオン / オフを切り替えることができます。ラップトップ上で CRT/LCD と記された機能キーか、モニタの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。＜ FN ＞と記号が記された機能キーを同時に押します。ラップトップのキーの組み合わせについては、ラップトップの説明書をお読みください。**

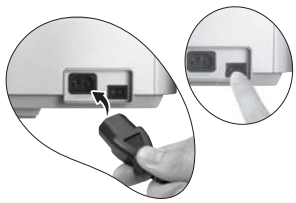
5 プロジェクタとリモコンの使い方

準備

1. 接続したすべての機器の電源をオンにします。
2. レンズキャップを外します。



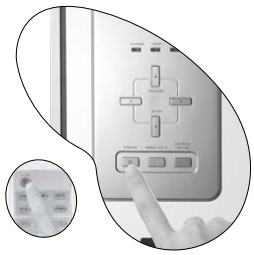
3. 同梱されている電源ケーブルをプロジェクタの背面にある AC コネクタに挿入し、メインの AC 電源をオンにします。



4. 電源コードをコンセントに差し込んで、壁のスイッチをオンにします。

起動

次の手順にしたがってください。



1. メインの AC 電源をオンにした後、電源ライトがオレンジ色に点灯していることを確認します。
2. プロジェクタまたはリモコンの **POWER**（電源）ボタンを数秒間押し続けるとプロジェクタがオンになります。

☞ **プロジェクタがウォームアップ中は、POWER ボタンが作動しない場合があります。**

3. 冷却ファンが起動を開始します。スクリーン上に数秒間スタートアップ画像が表示されます。
4. プロジェクタが入力信号を認識するまで、[Searching…] というメッセージが表示されます。このメッセージは有効な信号が検出されるまで表示され続けます。
5. 入力信号の水平周波数がプロジェクタの範囲を超えると、[Unsupported timing] というメッセージが表示されます。このメッセージは入力信号が変更されるまで表示され続けます。

入力信号の切り替え

このプロジェクタは同時に複数の装置と接続することができます。入力信号を切り替えるには、リモコンかプロジェクタの **SOURCE/ENTER**（**ソース /ENTER**）ボタンを押してください。



■ プロジェクタの電源をオンにすると、最後に選択した入力ソースが検索されます。
■ PIP または POP 機能を使用する方法については、22 ページの高度な操作をお読みください。

イメージの調整

角度と高さの調整



プロジェクタの底面には２個のアジャスタフットが備え付けられています。これらのアジャスタを使って、イメージの高さと投写角度を調整します。プロジェクタを調整するには、アジャスタフットを回して投写角度を調整してください。

☞ **スクリーンとプロジェクタが互いに垂直でない場合、投写イメージは縦方向に台形になります。これを補正するには、［設定］メニューでキーストーンの値を調整します。**

イメージの自動調整



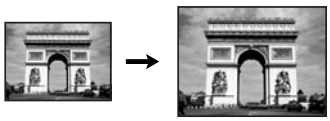
プロジェクタの AUTO（自動）ボタンを 1 回押すと、組み込まれているインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、最適な画質が得られます。

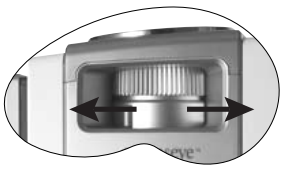
下図のように、現在のソース情報がスクリーンの右下隅に 3 秒間表示されます。

☞ **自動調整機能が作動している間は、スクリーンは消画の状態になります。**

ズームと焦点合わせ

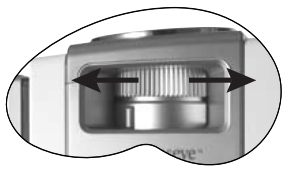
1. 投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。





2. 次にピントリングを回して焦点を合わせます。



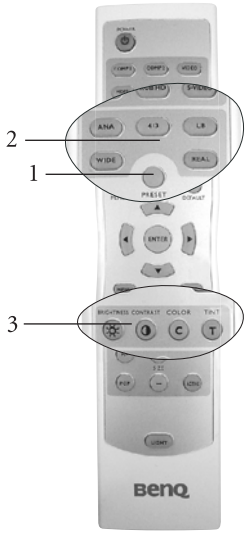


最適化

イメージを最適化するにはリモコンかオンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニューの操作方法については、25 ページを参照してください。

次の手順は任意で行ってください。必ずしもすべての手順に従う必要はありません。画質の状態によって調整を行ってください。

1. プリセットモードの選択



リモコンまたは**画像** > **プリセットモード**メニューでプリセットモードを選択します。それぞれの信号に対して 5 つのモードがあります。これらのモードは投写目的に応じたプリセット値に設定されています。

- プリセット シネマモード：彩度とコントラストは最適なバランスが得られますが、明度は低くなります。暗室でのムービー鑑賞に最適なモードです。
- プリセットホームシアターモード：シネマモードよりも明るいモードです。このモードでプロジェクタを使用するときには、周囲が若干明るくてもかまいません。
- プリセットファミリールームモード：このモードでは輝度が強調されます。TV 番組を見たり、ゲームをしたり、画像が明るいムービーを見たりするのに適しています。
- プリセットフォトモード：リビングルームでデジタル画像を見るのに最適なモードです。
- プリセットゲームモード：明るいリビングルームなどでビデオゲームをするのに適しています。

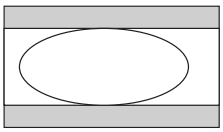
2. 縦横比の選択

縦横比とは、イメージの幅と高さの比率のことです。HDTV および、ほとんどの DVD は、このプロジェクタのデフォルト値である 16:9 です。ほとんどの TV 番組は 4:3 です。

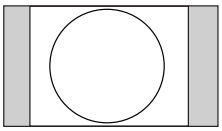
リモコンの［縦横比］ボタンか、**表示** > **縦横比**メニューかでイメージの比率を変更します。ビデオ信号のフォーマットに合わせて適切な縦横比を選択してください。５種類の縦横比の中から選択できます。

☞ **下の図では黒い部分が無効になったエリアで、白い部分が有効なエリアです。**

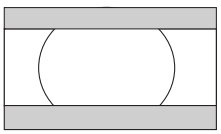
1. **アナモルフィック**：スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。



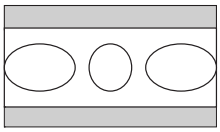
2. **4:3**: スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。



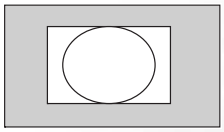
3. **文字用スペース**：文字用スペースのサイズに合わせてイメージを拡大し、16:9 の縦横比で全画面に表示します。イメージの上部および下部が切り取られます。この設定はシネマスコープやビスタ ワイドスクリーン方式に使用します。



4. **ワイド**：4:3 画像は 16:9 フルスクリーン表示に合わせて、非リニア的に横方向に拡大されます。つまり画像の左右部分のみが引き伸ばされ、中央部分はそのまま変更されません。



5. **リアル**：スクリーンの中央に表示されているイメージのスケールを変更せずに、入力信号で１対１マッピングが行われます。



3. その他の調整

明るさ、コントラスト、色、色合いなどの設定は、**画像** メニューやリモコンを使って行います。

☞ **項目によっては、特定の入力ポートを使用している場合にしか調整できないものもあります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。**

プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは自由に変えることができます。これらの設定は投写設定、操作、性能には影響しません。

- **設定**メニューの**言語**では、オンスクリーンメニューの言語を選択します。
- プロジェクタの **背景色** は**オプション** メニューで紫、黒、白の中から選択できます。
- **オプション** メニューの **OSD オフ（秒）**では、ボタンを押してからの OSD の表示時間を設定します。
- **オプション** メニューの**スリープタイマー（分）**では、プロジェクタが自動的にシャットダウンするまでの時間を設定します。
- **オプション** メニューの **OSD 水平位置** と **OSD 垂直位置**では、スクリーン上での OSD の位置を調整します。

ビデオメモリの保存と読み込み

■ リモコンのメモリボタン、またはプロジェクタの **MEMORY（メモリ）▲** ボタンを押すと、設定が直接読み込まれます。

■ ビデオ設定には次の４種類があります。メモリ 1、メモリ 2、メモリ 3、規定値。［規定値］ボタンを押すと、現在の入力ソースのデフォルト設定に戻します。

■ ユーザーメモリの保存方法については、28 ページをお読みください。



PIP（Picture-In-Picture）と POP（Picture-On-Picture）機能の使い方

ディスプレイモードによって、２種類の入力グループがあります。

ビデオグループ（Video）：ビデオ、S-Video 入力
グラフィックグループ（Graphic）：コンポーネント 1 と 2、RGBHD、HDMI 入力

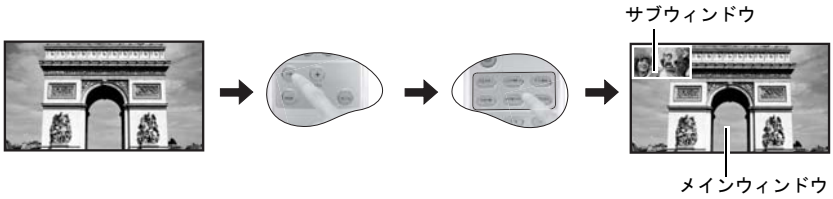
PIP 機能はビデオグループのうちの１個の入力表示の中に、グラフィックグループのうちの１個の入力を表示し **(G インV)** したり、グラフィックグループのうちの１個の入力表示の中に、グラフィックグループのうちの１個の入力を表示 **(V インG)** する機能です。

POP 機能はグラフィックグループのうちの１個の入力信号と、ビデオグループからの入力信号を横に並べて表示する機能です（**G <=> V または V <=> G**）。

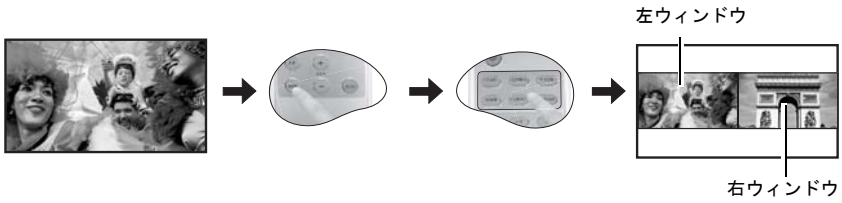
２種類の入力信号から２個のイメージを同時に表示するには、次のステップにしたがって２つ目のイメージを表示してください。

1. リモコンで［ソース］ボタンの１つを押して入力ソースを選択します。
2. リモコンの **PIP** または **POP** ボタンを押します。
3. リモコンで２つ目の入力信号を選択します。
4. PIP または POP ボタンを繰り返し押すと、相当するイメージの位置（G イン V または V イン G、G <=> V または V <=> G）を選択できます。
5. リモコンの **ACTIVE**（有効化）ボタンを押して、アクティブにするウィンドウを切り替えます。アクティブなウィンドウでは、入力信号の設定を変更できます。
6. PIP ウィンドウのサイズを調整するには、＋または － キーを押します。
7. PIP ウィンドウの位置を調整するには、矢印ボタン（▲/◀/▼/▶）をお使いください。
8. PIP や POP 機能をオフにするには、**PIP オフ** か **POP オフ**を選択します。

PIP ---



POP ---



終了

次の手順にしたがってください。

1. プロジェクタかリモコンの POWER（電源）ボタンを押すと、警告メッセージが表示されます。プロジェクタを終了するには、もう一度 POWER（電源）ボタンを押してください。
2. 電源インジケータライトが緑色に点滅し、ファンが約２分間作動してランプを冷却します。プロジェクタは冷却が完了するまで、いかなるコマンドにも応答しません。
3. その後、冷却が完了してファンが停止したら、電源インジケータライトがオレンジ色に点灯します。
4. 長期間プロジェクタを使用しない場合はメイン電源を切り、電源ケーブルを外しておいてください。



6 メニュー

メニュー構造



メニューの使用方法

プロジェクタは、On-Screen Display (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

メニュー言語は８ヶ国語用意されています。詳細については、28 ページの「設定メニュー」をお読みください。

次の例では、キーストーンの調整を説明しています。



1. MENU/EXIT（**メニュー / 終了**）を押すと、オンスクリーンメニューがオンになります。



2. ◀ または ▶ を使って **設定** を選択し、SOURCE/ENTER（**ソース** /ENTER）を押します。



3. ▲ または ▼ を使って**キーストーン**を選択します。



4. ◀ または ▶ を押してキーストーンの値を調整します。



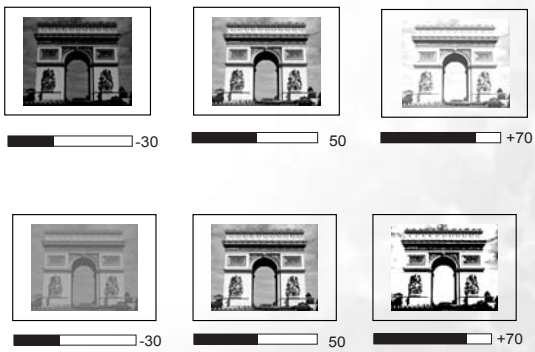
5. MENU/EXIT（**メニュー / 終了**）ボタンを２回押すと *、メニューを終了し、設定が保存されます。

***1 回目にはサブメニューに戻り、2 回目にオンスクリーンメニューが閉じます。**

画像メニュー

このメニューの機能は、ユーザー自身で画質を調整するためのものです。調整を行う前に、このメニューで異なる照明環境とプレゼンテーションの目的に適応できるような値を持ったプリセットモードを選択してください。

1. **明るさ**：イメージの輝度を調整します。値を高くするほどイメージの輝度が増加します。逆に値を低くするほどイメージは暗くなります。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。
2. **コントラスト**：イメージの明るさと暗さの差を調整します。値を高くするほどコントラストが増加します。



3. **色**：イメージの色強度を増減します。値を高くするほど色がより鮮明で明るくなります。
4. **色合い**：イメージの色調を調整します。値を高くするほど緑がかったイメージになります。値を低くするほど紫がかったイメージになります。
5. **ノイズリダクション**：イメージの電子ノイズを縮減します。値を高くするほどノイズが少なくなります。
6. **フィルタ**：ビデオとデータフィルタのオン / オフを切り替えます。フィルタを使うと画像のノイズを減らし、よりシャープに見せます。値を高くするほどノイズが少なくなります。
7. **鮮明度**：画像のシャープネスを調整します。値を高くするほど画像がシャープになります。
8. **プリセットモード**：プリセットモードを利用すると、ご使用のプログラムタイプに最適なプロジェクタのイメージを設定することができます。詳細については、21 ページを参照してください。
9. 拡張画像設定
   - 色温度：ユーザー 1、ユーザー 2、暖色、標準、寒色の中から選択してください。色温度ユーザー 1 と 2 を保存する方法については、28 ページを参照してください。
   - カラーエンハンスメント

   赤：赤の色相を単独で調整します。値を高くするほどイメージ内の赤が強くなります。

   緑：緑の色相を単独で調整します。値を高くするほどイメージ内の緑が強くなります。

   青：青の色相を単独で調整します。値を高くするほどイメージ内の青が強くなります。

   黄：黄の色相を単独で調整します。値を高くするほどイメージ内の黄が強くなります。

   白：純粋な白の値を調整します。
10. **設定の保存**：**画像** メニューの全アイテムを含めた設定を保存できるビデオメモリは３つあります。各入力ソースには３セットのユーザーメモリを保存できます。
    - 設定を保存するには：

      i.) **画像** メニューのアイテムを任意の値に調整します。

      ii.) **設定の保存**を選択し、**ENTER** を押します。

      iii.) **ユーザーメモリ 1 に保存**、**ユーザーメモリ 2 に保存**、**ユーザーメモリ 3 に保存**のいずれかを選択し、**ENTER** を押すと設定が保存されます。

      iv.) OSD を終了するには、**EXIT** を押します。
11. **設定の読み込み**：３つあるユーザーメモリのうちの１つから設定を読み込むか、デフォルト設定を読み込みます。

ディスプレイメニュー

プロジェクタが画像を表示する方法を指定します。

1. **縦横比**：ビデオ信号に応じて選択できるように、いくつかの縦横比が用意されています。詳細については、21 ページをお読みください。
2. PIP

   G イン V：ビデオグループからの入力信号内にグラフィックグループからの入力信号１個を表示します。

   V イン G：グラフィックグループからの入力信号内にビデオグループからの入力信号１個を表示します。

   PIP オフ：PIP 機能をオフにします。
3. **PIP マスター**：メインウィンドウまたはサブウィンドウを調整できるように、アクティブなウィンドウとして設定します。
4. POP

G <=> V：グラフィックグループからの入力信号を左に、ビデオグループからの入力信号を右に表示します。

V <=> G：ビデオグループからの入力信号を左に、グラフィックグループからの入力信号を右に表示します。

POP オフ：POP 機能をオフにします。

5. **POP マスター**：右ウィンドウまたは左ウィンドウを調整できるように、アクティブなウィンドウとして設定します。
6. **PIP/POP 入力ソースの選択**：PIP または POP イメージとして表示する入力信号を選択します。

ビデオ（Video）---

■ ビデオ：コンポジットビデオ信号

■ S-Video：S-Video ビデオ信号

グラフィック（Graphics）---

■ コンポーネント 1 および 2：コンポーネント Y/CB/CR および Y/PB/PR 入力

■ RGBHD：DTV RGBHD 信号入力

■ HDMI

☞ **PIP または POP 機能が有効になっているとき画像が揺れるような場合は、入力信号を変えるようお薦めします。画像の揺れは Y/CB/CR およびビデオ、または S-Video との組み合わせによって生じる場合があります。**

7. **PC/ コンポーネント YPbPr の調整**：次の設定は PC または DTV RGB 信号でしか使用できません。

■ 周波数：入力信号をキャプチャするサンプリングクロックの周波数を調整します。

■ フェーズ：クロックの位相を調整します。

■ 水平位置：イメージの水平位置を調整します。

■ 垂直位置：イメージの垂直位置を調整します。

■ オート：位相と周波数を自動的に調整します。

オプションメニュー

このメニューではプロジェクタのグローバル設定を行います。

1. **背景色**：入力信号が検出されないときに表示される、背景スクリーンの色を選択します。
2. **OSD オフ（秒）**：ボタンを押してからの OSD の表示時間を設定します。5 ～ 60 秒の範囲で設定できます。
3. **スリープタイマー（分）**：自動的にシャットダウンするまでのタイマーを設定します。タイマーは 10 分から 3 時間までの範囲で設定できます。
4. **OSD 水平位置**：OSD の水平位置を調整します。
5. **OSD 垂直位置**：OSD の垂直位置を調整します。
6. **設定のリセット**：すべての設定を工場出荷時の値に戻します。

設定メニュー

このメニューには基本的な画像設定のアイテムがあります。

1. **言語**：OSD メニューの言語を設定します。
2. **ミラー**：プロジェクタは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数のミラーを使用して設置することができます。４つのオプションがあります。プロジェクタを天井に設置する場合は、販売店に連絡して、天井取り付け用ブラケット (別売りアクセサリ) をお求めください。詳細については、14 ページを参照してください。
3. **キーストーン**：投写角度が原因で生じる台形歪みを補正します。歪みは± 12 度まで補正できます。
4. **高地**：高温や高地など、極限環境でプロジェクタを使用するときのためのモードです。海抜 3000 フィート以上、または 40ºC 以上の環境でプロジェクタを使用する場合は、**はい**を選択されるようお薦めします。

   はいを選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。

   高温、高地以外の極限環境でプロジェクタを使用する場合は、過熱からプロジェクタを保護するために設計された自動シャットダウン機能が作動する場合があります。このような場合は、**はい**に切り替えてみてください。高地モードでも対応できない場合もありますのでご了承ください。
5. **黒レベル**：グレイスケールのビデオ信号は IRE ユニットで測定されます。NTSC TV 規格を使用するエリアでは、グレイスケールを 7.5 IRE (黒) から 100 IRE(白) で測定する場合がありますが、PAL 規格を使用するエリアや、日本の NTSC 規格を使用するエリアでは、グレイスケールは 0 IRE (黒) から 100 IRE (白) で測定します。入力ソースが O IRE または 7.5 IRE のどちらを使用するかを確認した上で、正しい選択を行ってください。
6. **パターン**：［**表示**］メニューの**縦横比**機能を使って設定した縦横比で画像を表示します。プロジェクタを設置するときには、入力信号がなくてもこのパターンをお使いください。これを使って画像サイズとフォーカスを調整します。
7. ランプ
   - ■ ランプの電力：投写電力タイプを**最大**または**省エネ** のどちらかに設定します。
   - ■ ランプ時間：ランプの使用合計時間を表示します。
   - ■ ランプタイマーのリセット：ランプタイマーをリセットします。ランプタイマーのリセットは、ランプを交換した後にのみ行ってください。
8. ダストフィルタ
   - ■ 使用時間：フィルタの使用合計時間を表示します。
   - ■ ダストフィルタタイマーのリセット：ダストフィルタのタイマーをリセットします。ダストフィルタのリセットは、フィルタを交換した後にのみ行ってください。

詳細メニュー

1. **ホワイトバランス微調整**：白を調整します。
   - ■ 色温度情報：現在の色温度を表示します。

☞ *** 色温度について：**

用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。

- ■ RGB ゲイン ... --- 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。
- ■ RGB オフセット ... --- 赤、緑、青の明るさのレベルを調整します。

色温度をユーザー 1 および 2 に保存するには：

i.) **詳細**メニューを開き、**ホワイトバランス微調整** > **RGB ゲイン**を選択し、ENTER を押します。

ii.) ▲ または ▼ を押して変更したいアイテムを選択し、◄ または ► ボタンを使って値を調整します。

iii.) EXIT を押してメニューを終了し、設定を保存します。

iv.) ステップ ii から iii を繰り返して RGB オフセット値を設定します。

v.)［色温度をユーザー 1 に保存］か［色温度をユーザー 2 に保存］に入り、上記の手順で行った設定を保存します。

vi.) EXIT を押してメニューを終了し、設定を保存します。

☞ **色温度を上げる**

青 ゲインの値を上げて、赤 ゲインの値を下げます。

☞ **色温度を下げる**

赤 ゲインの値を上げて、青 ゲインの値を下げます。

7 メンテナンス

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。定期的に行う必要があるのは、レンズのクリーニングだけです。ランプを除き、プロジェクタの部品は一切取り外さないでください。ランプ以外の交換が必要な場合は、販売店にご相談ください。

レンズのクリーニング

表面の汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。レンズのクリーニングを開始する前に、プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

1. 圧縮空気スプレーを使用してほこりを取り除きます。(ハードウェア販売店やカメラショップでご購入いただけます。)
2. 汚れやしみが付いた場合は、適切なカメラレンズブラシを使用するか、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭いてください。

☞ **レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤やこすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。**

プロジェクタケースのクリーニング

ケースのクリーニングする前に、プロジェクタの電源をオフにして電源ケーブルを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

1. ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
2. 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

☞ **ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。**

ダストフィルタのお手入れと取り替え

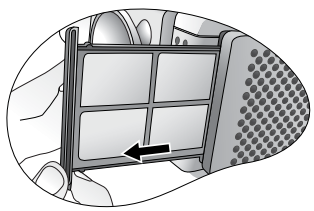
ダストフィルタは定期的なお手入れが必要です。**設定** > **使用時間**を選択すると、フィルタがこれまでに何時間使用されたかを確認することができます。フィルタが汚れていると汚れがこびり付き、適切な通気ができなくなります。これはプロジェクタの過熱や故障の原因となります。

定期的にフィルタを掃除しなければ、フィルタに汚れがこびり付き、内部で過熱を引き起こす可能性があるため、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。電源が切れる前に右のようなメッセージが表示されます。

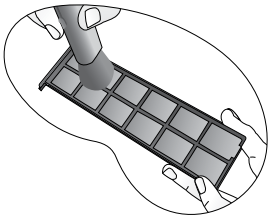
新しいフィルタを取り付けてください。
プロジェクタは 1 分以内に電源が切れます。

フィルタを掃除するには

1. プロジェクタをオフにして、ファンが停止するまでお待ちください。
2. プロジェクタからケーブルを外します。
3. プロジェクタの手前右がわからダストフィルタ グリルを引き出します。



4. コンピュータ用の小型掃除機や、その他のオフィス装置を使ってフィルタの汚れを取ります。または柔らかいブラシ（清潔なアート ペイントブラシなど）を使って汚れを取る方法もあります。
   ■ 汚れが落ちにくかったり、フィルタが壊れたりした場合は、新しいフィルタをご購入ください。



5. フィルタグリルをしっかりと装着します。フィルタの固定を確認してください。
   ■ フィルタグリルが正しく装着されていなければ、プロジェクタの MENU/EXIT（メニュー /EXIT）か、リモコンで EXIT を押すまで３分毎に同じメッセージが表示されます。そのまま何もしなければ、プロジェクタは１分以内に自動的に電源が切れます。フィルタを正しく装着し、その後で電源を入れてください。
6. **設定 > ダストフィルタタイマーのリセット**を選択し、フィルタタイマーをリセットします。

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

1. 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。範囲については、マニュアルの仕様ページを参照するか、販売店にお問い合わせください。
2. アジャスタフットを格納します。
3. リモコンから電池を取り外します。
4. プロジェクタを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。ご自分で運ぶ場合は、携帯用ソフトケースを使用してください。

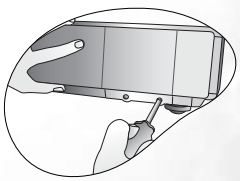
ランプの交換（BenQ 販売店へお問い合わせください）

⚠ **ランプは大変高温になる場合があります。ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクタを冷却してください。**

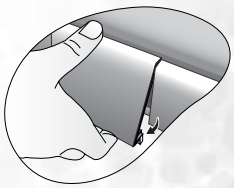
このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。

1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。接続されている機器をすべてオフにして、すべてのケーブルを外します。
2. プロジェクタを少し持ち上げます。ランプカバーのネジを緩めます。

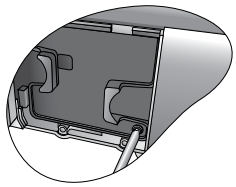
☞ **ランプカバーはプロジェクタの左側にあります。**



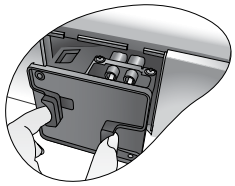
3. ランプカバーを外します。



4. ランプをプロジェクタに固定しているネジを緩めます。指にけがをする恐れがあるので、ネジを完全に緩めてください。磁気ヘッドのドライバを使用することを強くお薦めします。



5. ゆっくりとランプをプロジェクタから引っ張ります。

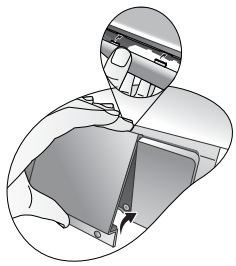


☞ **急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。指にけがをしたり、内部コンポーネントにキズがついたりする場合がありますので、破損したランプガラスを除去するときには特に注意してください。**

☞ **取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。**

☞ **ランプを取り出した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学部品に手を触れると、投写イメージの色が不均一になり歪む場合があります。**

6. 新しいランプを挿入します。ランプが正しい位置に挿入されたことを確認してください。
7. ランプボックスを固定するネジを締めます。
8. ランプカバーを元に戻します。
9. ランプカバーのネジを締めます。



☞ **ネジは締めすぎないでください。**

☞ **ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。**

10. 電源を入れて、**設定** > **ランプ** > **ランプタイマーのリセット**メニューに入り、ランプ時間をリセットします。

☞ **ランプカバーを取り外しているときは、電源をオンにしないでください。**

☞ **ランプを交換した場合は、ランプの合計動作時間をリセットしてください。**

☞ **ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。**

インジケータ

プロジェクタの状態を示すインジケータライトは 3 個あります。インジケータライトについては、次の情報を参照してください。問題がある場合はプロジェクタの電源を切り、販売店にお問い合わせください。

プロジェクタが正常の場合

電源	温度	ランプ	状態	備考
オレンジ			スタンバイモード	
オレンジ色に点滅			プロジェクタはウオームアップ中です。	プロジェクタの電源をオフにできません。
緑			プロジェクタは通常動作中です。	
緑色に点滅	オフ	オフ	(1) 通常の冷却プロセスを経過せずに異常終了したため、プロジェクタの冷却に 110 秒必要です。**または** (2) 電源をオフにした後、プロジェクタの冷却に 110 秒必要です。	プロジェクタの電源をオンにできません。

プロジェクタが異常の場合

電源	温度	ランプ	状態	備考
オレンジ	オフ	赤	(1) ランプが寿命です。**または** (2) ランプが正しく装着されていないか、壊れています。	対処： • 新しいランプを装着してください。 • 販売店にお問い合わせください。
オレンジ	赤	オフ	ダストフィルタが非常に汚れています。プロジェクタはシャットダウンします。	対処： • 新しいフィルタを装着してください。
オレンジ	赤	オフ	内部温度が異常に高くなっています。 • 収気用または排気用の孔が塞がっています。 • プロジェクタの通気に異常があります。 • 環境温度が高すぎます。	対処： • 通気孔が塞がっていないことを確認してください。 • プロジェクタの位置を変えます。 • 環境温度が指定された範囲内まで下がるまで、プロジェクタの使用をお止めください。最高操作温度は 40°C / 104°F です。
オレンジ	赤く点滅	赤く点滅	ファンが動作していません。	対処： • 電源が安定していることを確認します。 • ファンに異物が詰まっていないことを確認します。 • 販売店へお問い合わせください。

トラブルシューティング

問題	原因	対応
プロジェクタの電源がオンにならない	電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。(19 ページ)
	電源スイッチがオンの状態になっていません。	電源スイッチをオンにします。(19 ページ)
	冷却プロセスの間にプロジェクタの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。
	ランプカバーがしっかり装着されていません。	ランプカバーを正しく装着しなおしてください。(31 ページ)
画像が映らない	ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。(17 ページ)
	プロジェクタが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。(17 ページ)
	入力信号が正しく選択されていません。	リモコンの［ソース］ボタンを押すか、プロジェクタの SOURCE / ENTER（ソース /ENTER）で正しい入力信号を選択します。(19 ページ)
イメージが不安定	接続ケーブルがプロジェクタまたは信号ソースにしっかりと接続されていません。	ケーブルを適切な端末に正しく接続します。(17 ページ)
イメージがぼやける	投写レンズの焦点が合っていません。	ピントリングで焦点を合わせます。(20 ページ)
	プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であれば装置の高さを調整します。(20 ページ)
	レンズ キャップが装着されたままです。	レンズ キャップを取り外します。(19 ページ)
リモコンが機能しない	電池が切れています。	新しい電池に交換します。(10 ページ)
	リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除きます。(12 ページ)
	プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 8 メートル (26.2 フィート) 以内の場所に立ちます。(12 ページ)

仕様

仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

光学仕様

投写システム	1-CHIP DLP™
DMD チップ	0.8” DMD W_Pal（1280 x 720）
レンズ	ズーム倍率 1.37 倍、F/# 2.4 ~ 2.8, f = 24 ~ 32
投写サイズ	0.94 m 〜 7.62 m / 37 〜 300 インチ
ランプ	250W

電気仕様

カラー規格	NTSC / PAL-M / PAL-N / PAL 60 / SECAM
解像度	XGA, SVGA, VGA, Macintosh®, HDTV (1080i, 720p, 576p, 576i, 480p, 480i)
表示可能な最大色数	16,770,000 色（フルカラーの場合）

入力

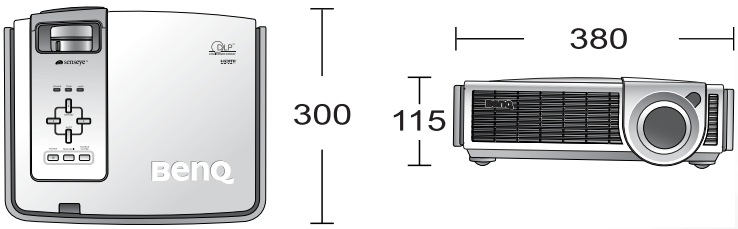
ビデオ、S-Video、コンポーネント（Y/ CB/ CR, Y/ PB/ PR）

RS-232C, RGBHV, HDMI

機械仕様

外形寸法	380 mm（奥行き）x 300 mm（幅）x 115 mm（高さ）
重量	10 lbs / 7.6 kg
電源	VAC 100 - 240V, 4.0 A, 50 / 60 Hz （自動）
消費電力	320W（最大）
動作温度範囲	0°C 〜 40°C （海抜 0 - 3000 フィート）
動作湿度	10% - 90%（結露なきこと）
保管温度	-10°C- 60°C / 14°F 〜 140°F
保管湿度	10% - 90%

寸法



単位：mm